

鳥取県商工会議所連合会

第 108 回 中小企業景況調査結果報告書

●中小企業景況調査概要

1. 鳥取県商工会議所連合会（鳥取、米子、倉吉、境港）は令和 5 年 10 月、第 108 回県内景況調査を実施、その結果をご報告いたします。
2. 調査時点 令和 5 年 7～9 月期
3. 調査対象 県内中小企業 150 事業所
鳥取・米子＝各 50 事業所、倉吉・境港＝各 25 事業所
4. 回収率 114 件（75.3%）
5. 集 計 B S I 表示
X＝上昇・増加、Y＝不変・横バイ、Z＝減少・下降
B S I＝1／2（X－Z） 但し（X＋Y＋Z）＝100%

●調査結果

[前年同期比](令和 4 年 7～9 月比)

県内全業種の売上高は「7.5」と、前年同期から 6.2 ポイントの改善となった一方、建設業は 4.5 ポイント悪化し「-12.5」とマイナス値を示しています。民間工事や設備投資が物価高でやや消極的であり、先行きに不透明感が残ります。

境港地区の全業種の売上高は「2.5」と横ばいに推移していますが、サービス業では「33.4」と 16.7 ポイントの増加を示しています。新型コロナの類型移行後、初めての夏休みで観光関連を中心に消費活動が活発だったことが要因と推察されます。

[来期見通し](令和 5 年 10～12 月見通し)

県内全業種の売上高の見通しは「2.7」と前年同期から 1.8 ポイント改善しています。一方で卸売業と小売業では業況判断がマイナス値となっており、冬に向けて生活コストが上昇することへの消費者の買い控えなどが収益確保への不安材料になっています。

境港地区の全業種の売上高の見通しは 9.7 ポイント改善し「12.5」となりました。概ねの業種で売上高が改善する見通しとなっていますが、一方で建設業では「-10.0」となっており、物価高騰や賃上げ対応等、経費の増加が業況回復に影響を与えている様子も伺えます。

[経営上の問題点]

県内全業種の経営上の問題点は、「原材料・仕入れ価格上昇」(21.4%)が前期と同じく首位となり、以下「経費の増加」(17.2%)、「人手不足」(13.8%)と続き、「人手不足」が 3 位に浮上する結果となりました。記述式の回答でも「川下は値上げを受け入れられない」「販売価格を引き上げるか悩む」といった意見が目立ちました。

境港地区全業種についても「原材料・仕入れ価格上昇」(20.7%)が首位となり、以下「経費の増加」(17.2%)、「消費・需要の停滞」「売上・受注減少」(いずれも 12.1%)と続き、原材料費やエネルギー価格の上昇に対し一定程度の価格転嫁は進んでいるものの、末端消費者に近い業種では依然として値上げがしづらい状況がみられます。

前年同期比

令和4年7~9月比

※ () 内 前年同期の結果

※上段：県全体 下段：境港地区

	回収数	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断
全業種	114	7.5 (1.3)	13.6 (10.5)	-3.2 (-7.0)	-1.3 (-1.8)	-4.4 (-9.9)	-3.1 (-12.6)
	20	2.5 (2.8)	12.5 (18.5)	-7.9 (-8.4)	-7.9 (-2.9)	-10.0 (-10.5)	-12.5 (-13.2)
製造業	32	17.2 (11.0)	21.9 (17.2)	-6.3 (-10.9)	-6.3 (-3.1)	3.2 (0.0)	1.6 (-4.7)
	4	12.5 (25.0)	0.0 (12.5)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	-12.5 (12.5)	-12.5 (12.5)
非製造業	82	3.7 (-2.4)	10.4 (7.8)	-1.9 (-5.5)	0.7 (-1.3)	-7.3 (-13.7)	-4.9 (-15.7)
	16	0.0 (-3.6)	15.7 (20.0)	-10.0 (-10.8)	-10.0 (-3.9)	-9.4 (-16.7)	-12.5 (-20.0)
(建設業)	24	-12.5 (-8.0)	-4.2 (-4.0)	-6.3 (-2.0)	0.0 (6.3)	-16.7 (-18.0)	-10.4 (-14.0)
	5	-20.0 (-20.0)	20.0 (20.0)	-10.0 (0.0)	-10.0 (25.0)	-30.0 (-20.0)	-40.0 (-10.0)
(卸売業)	19	18.4 (-8.4)	29.0 (19.4)	2.7 (-5.6)	2.7 (0.0)	2.7 (-16.7)	2.7 (-20.6)
	3	16.7 (0.0)	33.4 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	16.7 (-25.0)	16.7 (-25.0)
(小売業)	21	-2.4 (-7.5)	9.6 (14.3)	-9.5 (-11.9)	-4.8 (-11.9)	-19.1 (-11.9)	-19.1 (-21.4)
	5	-10.0 (0.0)	0.0 (30.0)	-20.0 (-30.0)	-20.0 (-30.0)	-20.0 (-20.0)	-20.0 (-30.0)
(サービス業)	18	16.7 (15.0)	11.1 (5.3)	9.4 (0.0)	6.3 (0.0)	8.4 (-7.5)	11.1 (-7.5)
	3	33.4 (16.7)	16.7 (16.7)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	16.7 (0.0)	16.7 (-16.7)

来期見通し

令和5年10~12月見通し

※ () 内 前年同期の結果

※上段：県全体 下段：境港地区

	回収数	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断
全業種	114	2.7 (0.9)	12.1 (12.2)	-3.2 (-5.7)	-0.5 (-2.2)	-2.7 (-6.5)	-2.3 (-7.4)
	20	12.5 (2.8)	17.5 (21.1)	-2.7 (-3.0)	-5.3 (0.0)	5.0 (-5.3)	2.5 (-5.3)
製造業	32	9.4 (14.1)	15.6 (17.2)	-1.6 (-6.5)	-4.7 (-1.6)	4.7 (1.6)	4.7 (0.0)
	4	37.5 (25.0)	12.5 (25.0)	25.0 (16.7)	0.0 (0.0)	25.0 (12.5)	25.0 (12.5)
非製造業	82	0.0 (-4.2)	10.6 (10.2)	-3.9 (-5.5)	1.3 (-2.5)	-5.7 (-9.6)	-5.0 (-10.2)
	16	6.3 (-3.6)	18.8 (20.0)	-10.0 (-7.2)	-6.7 (0.0)	0.0 (-10.0)	-3.2 (-20.0)
(建設業)	24	2.1 (2.5)	2.1 (-8.0)	-6.3 (-4.0)	-2.1 (2.1)	-4.2 (-8.0)	-6.3 (-8.0)
	5	-10.0 (0.0)	20.0 (20.0)	-30.0 (-10.0)	-20.0 (12.5)	-10.0 (0.0)	-30.0 (0.0)
(卸売業)	19	5.3 (-2.8)	18.4 (27.8)	-2.8 (-2.8)	2.8 (0.0)	-8.4 (-2.8)	-5.3 (-2.8)
	3	16.7 (0.0)	16.7 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (-25.0)	0.0 (-25.0)
(小売業)	21	-7.5 (-15.0)	12.5 (16.7)	-10.0 (-9.5)	-2.5 (-9.5)	-15.0 (-21.5)	-12.5 (-23.8)
	5	0.0 (-12.5)	10.0 (30.0)	0.0 (-10.0)	0.0 (-10.0)	-10.0 (-20.0)	0.0 (-30.0)
(サービス業)	18	0.0 (10.0)	11.8 (10.6)	6.7 (-5.3)	10.0 (-2.8)	5.9 (-5.0)	5.9 (-5.0)
	3	33.4 (0.0)	33.4 (16.7)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	33.4 (0.0)	33.4 (0.0)

BSI = 1/2 (X - Z) X = 上昇・増加 Y = 不変・横バイ Z = 減少・下降 但し (X + Y + Z) = 100%